

～新しい「公」づくり市民の皆様と～

2016

5

# はじめよう!



## CONTENTS

ふくしの家20年のあゆみ	P2～P3
事業所の行事～それぞれの花見	
現場で働くスタッフの声	P4
研修レポート	P4
12月～2月 活動実績	P5
移動ネット講習会案内	P5
1月～3月 会の動き	P6
かがやきクラブだより	P7
木づかい運動とは	P7
グループ事業所案内	P8
ICTサポートセンターより	P8



3月のお別れ会風景(まちの子ども保育園)



市民生活支援センター  
ふくしの家

### 介護保険新時代にどう向き合うか

28年度が始まりました。27年度マイナスイナス改定の影響もあってか介護保険事業所の倒産件数が過去最高という見出しの記事や合併や吸収などといった言葉も耳にするようになりました。人口減少による人手不足の波に加え、介護事業者の不祥事を取り上げたマスコミ報道は3Kの代名詞としてより大きく誇張されました。さらに国の関係審議会では、医療介護同時改正の30年に向かって28年度末までに結論を出す法案の審議がすでに始まっています。歯止めがきかない介護費の急増から、給付費を抑えることが最大の目的で、将来へのつけを回避するという財務省案にはすでに説得力さえ感じられます。もう大方の方向性は決まっているようで、30年に要介護2までを給付対象から外すこととはないとしても、近い将来実施するための前哨戦としてのPRとも受け取れます。

公表価格以下で報酬を設定する事業者もなく、国がねらった市場競争は皆無であり(指定基準内に一切の創意工夫が認められない中で、競争原理だから報酬価格だけ下げたほしいという感覚にも無理があると思うのですが・・・)給付にぶらさがる経営でよしとする事業所が増え続けました。18年からの介護予防事業も認定率が下がるなどの予防効果を上げた市町村はわずかで費用対効果が得られなかった(失敗だった)と国も認めています。これまでの介護保険事業のあり方は大きく見直さざるを得ないわけですが、この変化に対応できない事業者も出てくるのが予想されます(けっして他人事ではありません)。

厳しくなりますが、やっとな介護保険の本丸に入っていくことにもなります。公の制度と民間の創意工夫が活かされて、はじめて質の確保にもつながりますし、そうでなければ今後多くの団塊の世代が後期高齢者になったときのサービスニーズには、おそらくマッチしていかないでしょう。

「究極のサービス業」の序の口というところでしょうか。皆さまのお力をいただきながら一歩進んだという年度にしていければと思います。

理事長 江口陽介

# ふくしの家 20年のあゆみ



平成17年

平成16年

平成13年

平成12年

平成11年

平成8年

- 10月 佐賀県委託事業佐賀県障害者ITサポートセンター開始(鍋島)
- 5月 任意団体ふくし生協佐賀準備会支所「ふくしの家きはら」を設立
- 5月 高齢者・児童・障害者等を対象に宅老所・託児所・在宅福祉サービス(全有料)開始
- 12月 県内でNPO初の指定通所介護となる(南佐賀)
- 10月 NPO法人の認証取得
- 7月 指定訪問介護の開始(東佐賀)
- 5月 託児所を東佐賀から分離する(巨勢町) 佐賀市委託事業 金立養護学校学童保育開始
- 4月 2単位目の指定通所介護が指定(東佐賀) 佐賀市委託事業 大和養護学校学童保育開始
- 4月 県内で民間初の児童デイサービスを開始(巨勢町)
- 6月 さが福祉移動サービス・ネットワーク(25団体)事務局開始
- 5月 タクシー事業(福祉輸送事業限定許可)開始(愛敬)



NPO 法も介護保険もなかった時代、草の根の市民団体から核分かれし 20 年経ちました。一時預りの託児や、移送サービス、宅老所など、当時全く無名だったサービスに力を入れて今日につながっています。規模は大きく制度もあって堅苦しくなりましたが、今も昔もさほど変わることには変わりはありません。



# 認定NPO法人 市民生活支援センター

これから

- 平成28年
- 平成27年
- 平成26年
- 平成25年
- 平成22年
- 平成20年
- 平成19年
- 平成18年

- 8月 訪問介護所を追加(大和) タクシー営業所許可追加
- 10月 福祉有償運送の登録 事業開始(東佐賀)
- 5月 保育所移転(大財)
- 2月 東佐賀の指定通所介護を移転(多布施)
- 7月 共同生活援助開設(多布施)
- 10月 東佐賀の2単位目の指定通所介護を移転(光)
- 11月 小規模多機能型居宅介護開設(鍋島)
- 11月 ハーモニ―協働事業高齢者専用賃貸住宅の管理  
(大和の訪問介護事業所移設(鍋島))
- 9月 通所介護事業を1単位閉鎖し、小規模多機能型居宅介護事業を開始  
共同生活援助及び訪問介護事業所の移設
- 10月 住宅型有料老人ホーム開設(東佐賀)
- 1月 住民参加型福祉サービス「地域ささえあい」を循環地区に周知
- 3月 認定NPO法人取得
- 4月 佐賀市認可小規模保育事業開始(大財)
- 6月 佐賀県地域共生ステーション連絡会(80団体)事務局開始(鍋島)
- 10月 総合事業の準備のため民家を賃貸(紺屋)

今後、これまで以上に多様なニーズが生まれます。

それは介護保険のような制度サービスによる単調なシステムでは賄えられないニーズです。

ふくしの家の市民生活支援センターというネーミングが20年にしてようやく機能していくこととなるかもしれません。

これまでも経過であり、出来上がったものは何一つありません。代が変わってもNPOの精神性が維持される仕組みづくり、民間が営む公づくりがこれからの目指す姿です。

これからも多くの皆様と未来いっしょに歩んでいけることを願っております。



笑顔の毎日

まちの子ども保育園 眞鍋 真紀

「せんせい、おはよう！」朝から子ども達の元気な挨拶と笑顔にパワーをもらって一日が始まります。まちの子ども保育園で

楽しく仕事をさせて頂いて一年が経ちました。

一年前は、初めての事だらけで不安いっぱいでしたが、スタッフ

の皆さんの輪が出来ているとても雰囲気の良い職場なので、教えて

頂きながら安心して働く事が出来ています。

障がいのある無しに関わらず、年齢も違う子ども達が一緒に過ごす場所なので、楽しく安全に遊べるように見守り、手助けをしていきたいと思えます。園では、小さい子や

手助けが必要な子に自然と優しく接している子ども達の姿にこちらが教わる事もあります。

「三つ子の魂百まで」と言われます。大切な時期の子どもさんを預かる保育士として自分自身のスキルアップを図りながら、子ども達と一緒に成長出来るように、笑顔で頑張っていきたいと思っています。



第2回「地域共生ステーション資質アップ研修会」2月29日19:00 アバンセ研修室  
第2部 介護事業における人材作りと課題 シオンの園 平方啓義氏

ふくしの家からも数名の参加がありましたが、今回はケアマネージャー2人のレポートを紹介します。

川崎の施設転落事件で犯人は「手がかり面倒になった。」と言って入居者を転落させた。これは絶対に許される事ではない。しかしどうしてこのような犯行に及んだのか。介護職員のストレスも一因ではないだろうか。

人は感情の動物である。人に対して好き嫌いがある。嫌いな人に対して優しくなれない。しかし、感情を出して仕事をしてはいけない。自己覚知していれば可能であるだろうがなかなか難しい事である。理性ではわかっているものの感情が先を行く場合がある。理性より感情(本性)が勝った時にこのような犯罪は起きているのかもしれない。

研修ではセルフケア向上について学んだ。ストレスを溜めない。ストレスマネジメントする事が大切である。

松下幸之助氏は「事業は人なり」と言っている。どんな経営でも適切な人材を得て発展していく。経営の組織とか手法も大事であろうが、それを生かすのはやはり「人」なのであろう。

まちのホーム循誘 中島恵子

講師である平方氏の講演の中でストレスマネジメントに関するものが強く心に残りました。介護職のみならず離職の大きな要因のひとつに人間関係によるストレスが挙げられます。自己として組織全体としてストレスをマネジメントする方法のヒントを得ることが出来ました。

自己のマネジメントとしては先ず自分の対人へのタイプを知ること。ストレスに関する知識を持つこと。セルフケアの方法を把握しておくことなどを学びました。

全体のマネジメントとしては周囲の人々の状況を知ること。コミュニケーションを意識として受け取り、伝えたい内容を段階を踏みながら伝え、相手に出来る限りプレッシャーを与えないことなどが重要だと思いました。

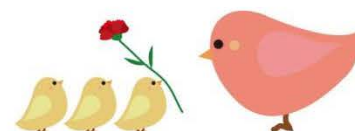
個人のコミュニケーションの取り方で周囲のストレスが大きく変わってくることを改めて感じる事が出来ました。

まちのホーム医大前 森田信義



抱きしめて欲しかったとき  
友人が必要だったとき  
教訓が必要だったとき  
あなたのたくましさと愛が私を導き

あなたはいつも両手を広げていた。  
あなたの心はいつでも察してくれた。  
あなたのやさしい瞳は厳格になった。  
羽ばたくための翼を与えてくれた。



# 会の実績

## 訪問介護

	ホームヘルプサービス			まちの移動ケアサービス		
	12月	1月	2月	12月	1月	2月
介護輸送	1,027	875	985	717	650	761
身体・生活	224	183	200	73	72	84



## 小規模多機能型居宅介護

	まちのホーム医大前			まちのホーム循誘		
	12月	1月	2月	12月	1月	2月
開所日数	31	31	28	31	31	28
実利用人数	20	21	21	25	25	26

## 通所介護

### 住宅型有料老人ホーム

### 福祉有償運送

	まちのホームひかり			開所日数	ケアホーム			実利用人数	ふくしの家		
	12月	1月	2月		12月	1月	2月		12月	1月	2月
開所日数	23	19	21	31	31	28	7	7	7		
延利用人数	158	130	123	実利用人数	22	22	23	延回数	44	59	64

## 障がい者ICTサポートセンター(佐賀県委託事業)

ゆめくれよん			
	12月	1月	2月
ボランティア派遣	31	1	27
パソコン教室	20	21	32
ボランティア養成	0	4	16
ボランティアスキルアップ勉強会	0	0	14
ふくしの家パソコン事業	27	28	17

## 子育て支援事業

まちの子ども保育園			
	12月	1月	2月
開所日数	24	19	24
児童発達支援	106	103	119
放課後等デイ	14	13	11
開所日数	31	31	28
一般保育	371	313	327
開所日数	24	19	24
小規模保育	113	107	124

## 特別支援学校放課後児童クラブ(佐賀市委託事業)

	チャレンジドクラブ			かがやきクラブ		
	12月	1月	2月	12月	1月	2月
開所日数	22	21	23	23	22	23
利用人数	142	132	148	209	174	221

## ささえあい(循誘地区)

	ふくしの家		
	12月	1月	2月
買い物	1	0	0
剪定	0	0	0

佐賀県地域共生ステーション連絡会のパンフレットが出来ました。地域共生ステーションの普及に購読希望の方は佐地共連事務局までお気軽に連絡ください!



## 受講者募集中

次回予定

移動サービス認定運転者講習会

(国交省大臣認定)

5月28日(土)~29日(日)

お申込み受付いたします

☎ 0952-36-6865



- 5日 まちの子ども保育園スタッフ会議
- 8日 佐賀新聞記者来訪「介護予防・日常生活支援総合事業についての取材」
- 13日 まちのホーム循誘から他施設実習に派遣(協力:シオンの園) ふくしの家事務局会議
- 14日 認知症介護実践者研修講師派遣/けやき荘 チャレンジドクラブ運営会議
- 15-17日 ささえあいフォーラム会議及びフォーラム出席/那覇市(さわやか福祉財団関連)
- 19日 ふくしの家事業戦略会議
- 20日 認知症介護実践者研修実習受入れ/医大前 地域共生ステーション資質アップ研修会実施/アバンセ
- 21日 県身近な移動推進室と福祉有償運送団体訪問 地域共生ステーション中部ブロック会議出席  
内部研修「20年目、そしてこれから」/ふくしの家会議室
- 22日 県身近な移動手段確保推進室より来訪(福祉有償運送の件)
- 26日 北陵高校教員実習受入れ/医大前
- 27日 嬉野市地域ケア会議に講師派遣「総合事業について」
- 28日 まちのホーム循誘運営推進会議 生活支援コーディネーター養成研修打合せ/佐賀県
- 29日 ふくしの家ホームヘルプサービス運営会議



- 1日 佐賀県地域共生ステーション西部ブロック地域共生交流イベント出席
- 3日 糸島市社会福祉協議会主催二丈ささえあいサポーター講座講師派遣
- 4日 小城市地域ケア会議にさわやか福祉財団九州1ブロックとして出席/ドゥイング三日月
- 5日 子育て女性のための就活フェスタ参加/アバンセ 集団指導へ参加/ぷりん  
県身近な移動手段確保推進室主催「安全運転講習会」参加/中原たすけあいの会
- 8日 中部地区福祉有償運送運営協議会委員として出席
- 7日 福岡県社協主催「介護予防日常生活支援総合事業勉強会」講師派遣(さわやか関連)
- 12日 ふくしの家事務局会議 大川市総合事業住民説明会出席(さわやか関連)
- 13-14日 さが移動ネット主催移動サービス認定運転者講習会
- 15日 川上校区まちづくり協議会講師派遣/川上コミュニティセンター
- 16日 ふくしの家事業戦略会議 佐賀県地域共生ステーション連絡会世話人会出席
- 16-18日 さわやか福祉財団全国戦略会議出席
- 19日 生活支援コーディネーター養成研修打合せ/県庁
- 22日 ゆめくれよん+佐賀県庁職員向けパソコンボランティア教室
- 23日 まちのホーム医大前運営推進会議 第2回地域共生ステーション資質アップ研修会/アバンセ
- 25日 ゆめくれよん+佐賀県庁職員向けパソコンボランティア教室
- 26日 佐賀市事業「脳いきいき健康塾」説明会参加/ほほえみ館  
佐賀市小規模保育施設立入検査/まちの子ども保育園
- 27日 全国移動サービスネットワーク理事会出席(さが移動ネット)



- 1日 まちの子ども保育園スタッフ会議
- 2日 地域共生ステーションアドバイザー訪問/2事業所
- 5日 まちの移動ケア鍋島センターご利用者花見ツアー/大和桃園
- 8日 紺屋町自治会長訪問・居場所づくりについて
- 10日 柳川市地域包括まちづくり職員研修会参加(さわやか関連)
- 12日 寄り合いステーション桜坂訪問
- 14日 市民協 田中尚輝氏の勉強会へ参加「改正介護保険の本質と問題点」/JR博多
- 15日 ふくしの家事務局会議
- 16日 本田技研工業(株)安全運転普及本部より福祉サービス送迎運転者講習会地域実技モデル案紹介のため来訪  
ふくしの家事業戦略会議 県地域福祉課より来訪 まちのホーム医大前運営会議
- 17日 県長寿社会課より来訪「新基金介護人材確保メニューの説明」(佐地共連関連)
- 18日 佐賀県認知症介護研修等企画会議出席/自治会館
- 23日 佐賀県生活支援コーディネーター養成研修初級編講師派遣(さわやか関連)
- 24日 佐賀県地域共生ステーション中部ブロック地域共生交流会 講師派遣/たすけあい佐賀かせ
- 25日 佐賀県住生活基本計画等に係る安心居住専門部会出席/佐賀県教育会館 まちのホーム循誘運営会議
- 26日 吉富町地域包括ケアフォーラム参加(さわやか関連)
- 30日 まちのホーム循誘運営推進会議
- 31日 ふくしの家ホームヘルプサービス運営会議



# かがやきクラブだより 2016.春

♪森山直太郎「さくら」(独唱)「よひ  
さくら さくら いざ舞い上げ  
永遠にさんざめく 光を浴びて  
さらば共よ またこの場所で会おう  
さくら舞い散る道の上で



社会に障がい者、健常者という区別はない。  
異なる個性を持つ同じ社会の一市民として  
当たり前のように生きようよ!

<http://www.kidukai.com>



詳しくは木づかい運動情報サイトとしてホームページがありますので是非ご覧ください。  
※第一約束期間とは地球温暖化防止京都議定書で設定された2008年～2012年

まずは国産材製品を使うことで地球温暖化を  
ストップしましょう!という事です。国産材の  
積極的な利用を通じて山村を活性化しCO2(二酸化炭素)をより多く吸収することを目指しています。そして国レベルで取り組む林野庁の「木づかい運動」の第一約束期間終了後も実施主体としての事務局を立ち上げられてさまざまな取り組みをされています。

### 木づかい運動とは?

ふくしの家では、まちのホーム循環の施設新築にあたってNPO法人活木活木(いきいき)森ネットワークの「木造公共建築物・木質バイオマス利活用施設の整備資金等に係る利子助成制度」に応募し、その制度の基に毎年助成をしてもらっています。そのご縁で木づかい運動にふくしの家も賛同していますので、ご紹介します。

熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。  
地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りすると共に被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。  
未だ余震が続くなか、災害対策に全力を尽くしていらっしゃる皆様に、深く敬意の意を表すとともに一刻もはやい地震の収束を願いたします。  
ふくしの家では佐賀県地域共生ステーション連絡会を通し、被災地における人的支援に取り組んでいく所存です。  
お役にたつことがあればお気軽にご連絡ください。

おくやみ  
ケアホーム  
岸本フミヨ様 平成28年3月2日  
中原キミエ様 平成28年4月15日  
スタッフ一同、心より  
ご冥福をお祈り申し上げます

事業所

- ケアホームふくしの家【住宅型有料老人ホーム】  
佐賀市東佐賀町16番2号/電話0952-37-5102
- まちのホーム循誘【小規模多機能型居宅介護】・グループホームじゅんゆう寮【共同生活援助】  
佐賀市東佐賀町16番2号/電話0952-28-4286
- ふくしの家ホームヘルプサービス【訪問介護・福祉輸送事業限定・自家用自動車有償運送】  
佐賀市東佐賀町16番2号/電話0952-41-9200
- まちの移動ケアサービス 鍋島センター【訪問介護・居宅介護・福祉輸送事業限定・自家用自動車有償運送】  
佐賀市鍋島三丁目3-20鍋島シェストハーモニー3F/電話0952-34-2790
- まちの子ども保育園【佐賀市認可小規模保育施設】・日常生活支援ルームぷりん【児童発達支援・放課後等デイサービス】  
託児所しゅーくりーむ【佐賀県認証保育施設】  
佐賀市大財六丁目4番66号/電話0952-22-3744
- まちのホームひかり【通所介護】  
佐賀市光一丁目9番17号/電話0952-41-8422
- 佐賀県障がい者ICTサポートセンターゆめくれよん+【佐賀県委託事業】  
佐賀市鍋島三丁目3-20鍋島シェストハーモニー1F/電話0952-36-6977
- 市民生活支援センターふくしの家事務局  
さが福祉移動サービス・ネットワーク事務局 / 佐賀県地域共生ステーション連絡会事務局  
佐賀市鍋島三丁目3-20鍋島シェストハーモニー3F/電話0952-36-6865
- 金立特別支援学校放課後児童クラブ「チャレンジドクラブ」/電話090-9566-6768【佐賀市委託事業】
- 大和特別支援学校放課後児童クラブ「大和かがやきクラブ」/電話090-7475-8989【佐賀市委託事業】
- まちのホーム医大前【小規模多機能型居宅介護】/総合福祉ビルハーモニー窓口  
佐賀市鍋島三丁目3-20鍋島シェストハーモニー4F/電話0952-36-6113



## パソコンを活用してイキイキライフ!!

今回ゆめくれよん+では、「でき iPad。」を導入しました。

この「でき iPad。」は、写真のようにボタンとiPadをBluetooth 接続して体が不自由な方でもiPadの操作が可能になります。

ゆめくれよん+ではそのほかにも多数の支援機器を用意しています。

興味のあるかたは是非ゆめくれよん+へ見学においでください。



佐賀県障害者 ICT サポートセンターゆめくれよん+ ☎ 0952-36-6977

## はじめよう!5月号

【編集/印刷】 認定特定非営利活動法人 市民生活支援センター ふくしの家  
 〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3-20鍋島シェスト 総合福祉ビルハーモニー3F  
 TEL (0952) 36-6865 FAX (0952) 36-6895  
 E-mail [fukushinoie@world.ocn.ne.jp](mailto:fukushinoie@world.ocn.ne.jp) ホームページ <http://www.fukushinoie.jp>

【発行】 九州障害者定期刊行物協会  
 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-16-1 毎日福岡会館7F  
 TEL (092) 753-9722 FAX (092) 753-9723 [定価 100円]  
 【購読料は会費等を含む】



※身障第三種郵便の会報以外に、普通郵便扱いで行政、関係福祉団体、市民向けに広報誌としても送付しています。